

今週のお祈り 降臨節第4主日特祷

全能の神よ、み子の訪れによってわたしたちを清め、心の闇を照らしてください。主が来られるとき、主にふさわしいみ住まいを、常にわたしたちのうちに備えることができますように、父と聖靈とともに一体であつて世々に生き支配しておられる主イエス・キリストによってお願ひいたします。アーメン



日本聖公会 東京教区  
聖バウロ教会 にちようがっこく  
〒153-0053 目黒区五本木2-20-1  
電話: 03-3710-6031

号外 281

発行日  
2025年  
12月21日

降臨節(アドベント)の4本目のろうそくが灯りました。今日の礼拝では日曜学校による聖劇もおささげします。多くの皆さまと一緒に主イエスさまのご降誕を祝うことができますように! 教会でお会いしましょう♪



今週の聖書

マタイによる福音書

18..18..25

18 イエス・キリストの誕生の次第はこうであつた。母マリアはヨセフと婚約していたが、一緒になる前に、聖靈によって身離縁しようと決心した。20 このように考へていると、主の天使が夢に現れて言った。「ダビデの子ヨセフ、恐れずマリアを妻に迎えなさい。マリアに宿つた子は聖靈の働きによるので、マリアのことを表沙汰にするのを望まず、ひそかに離縁しよう」と決心した。21 マリアは男の子を産む。その子をイエスと名付けたのである。22 この子は自分の民を罪から救うからである。」23 このすべてのことが起こったのは、主が預言者を通して言われたことが実現するためであつた。24 「見よ、おとめが身ごもつて男

聖書からのメッセージ

しつじりんぶんけん  
執事 林 汝慶

神さまは、いつも私たちといっしょにいたいと願っていた。でも、見えない神さまのことは、なかなか分からぬ。そこで、神さまは、私たちと同じ人の姿になって、この世界に来てくれた。それがイエスさまだ。イエスさまが生まれる、ずっとずっと前、なんと七百年も前に、神さまはすでにその約束をしていた。だから、イエスさまの誕生は、ただのお話や作り話ではない。神さまが長い時間をかけて、大切に守り続けてきた、本当の約束だった。

そして今、イエスさまが天に昇ったあとも、神さまは私たちといっしょにいることに、変わりがない。それは、神さまである聖靈さまが、私たち一人ひとりの心の中にいてくれるからだ。だから、これからも、そしていつまでも、神さまは、私たちといっしょにいるのだ。

の子を産む。／その名はインマヌエルと呼ばれる。」これは、「神は私たちと共におられる」という意味である。24 ヨセフは目覚めて起きると、主の天使が命じたとおり、マリアを妻に迎えた。25 しかし、男の子が生まれるまで彼女を知ることはなかつた。そして、その子をイエスと名付けた。